

高崎芸術劇場 音楽ホール

「歓喜の歌」出演歌手によるリサイタル

2 Days

高崎芸術劇場開館記念演奏会のために来日する
世界的歌手による声楽リサイタルを2日にわたり開催します。



ペーター・ロダール
PETER LODAHL



中嶋彰子
AKIKO NAKAJIMA



クリスティン・ルイス
KRISTIN LEWIS

2019 9.21 [土] 14:00 開演 (13:30開場)

～北欧の光～

ペーター・ロダール&中嶋彰子
デュオリサイタル

【出演】

ペーター・ロダール(テノール)、中嶋彰子(ソプラノ)
ルイゼッタ・ジェルマーノ(ピアノ)

【曲目】

ハイセ/ロギアの夕べ、森の寂しさ
グリーグ/6つの歌曲Op.48より 第6曲 夢
12の旋律Op.33より 第2曲 春
R.シュトラウス/8つの歌曲Op.10より 第1曲 献呈、第3曲 夜
シューベルト/至福D433、歓迎と別れD767
ロシーニ/音楽の夜会より 第8曲 踊り(ナポリのタランテラ)
ベッリーニ/歌劇「夢遊病の女」より“この指輪を受け取っておくれ”
グノー/歌劇「ファウスト」より“この清らかな住まい”
ツェラー/喜歌劇「小鳥売り」より“私は郵便配達のカリステル”
スッペ/喜歌劇「ボッカチオ」より“恋はやさし野辺の花よ”
ヴェルディ/歌劇「マクベス」より“ああ、父の手は”
ヨハン・シュトラウス2世/喜歌劇「ウィーン気質」より“ウィーン気質”
※終演後に出演者によるトーク・イベントを予定しています(裏面をご覧ください)

各公演 全席指定 ¥5,000 (U-25 ¥2,000)

2019 9.22 [日] 14:00 開演 (13:30開場)

～ラ・ストゥペンダ～

クリスティン・ルイス
ソプラノリサイタル

【出演】

クリスティン・ルイス(ソプラノ)、ルイゼッタ・ジェルマーノ(ピアノ)
中嶋彰子(司会)

【曲目】

ベートーヴェン/ああ、裏切り者め
R・シュトラウス/明日!
解き放たれて
万霊節
ヴェルディ/神よ、平和を与えたまえ!(「運命の力」より)
R・シュトラウス/四つの最後の歌より九月、夕映えの中で
プレヴィン/私が欲しいのは魔法!(「欲望という名の電車」より)
フロイド/素敵な夜じゃない?(「スザンナ」より)
エドワード・ポートナー/なんてきれいな都だろう
モーゼズ・ホーガン/私に下さい、イエスさま
フローレンス・ブライス/私の心は神にやすらい



ピアノ:
ルイゼッタ・ジェルマーノ

「歓喜の歌」出演歌手によるリサイタル *2Days*

高崎芸術劇場

TAKASAKI CITY THEATRE

音楽ホール
(全415席)



ペーター・ロダール
Peter Lodahl

現在コペンハーゲン・オペラ・フェスティバル及びコペンハーゲン・フィルの芸術監督をつとめるデンマーク出身のテノール歌手。デンマーク王立オーフス音楽院およびコペンハーゲンのオペラアカデミーでスザンナ・エケンに師事。ドイツの名門歌劇場であるベルリン・コミッシェ・オーパーの専属歌手として2006～2009年の間、『エフゲニー・オネーギン』（チャイコフスキー）のレンスキー、『ラ・ボエーム』のロドルフォ、『椿姫』（ヴェルディ）のアルフレッドの各役をつとめる。これまでスカンジナビア諸国はもとより、ドイツ、オーストリア、イタリア、日本に客演、デンマーク王立劇場やヨーテボリ歌劇場、ノル웨이国立歌劇場、ハンブルグ国立歌劇場といった各国の主要劇場への出演、また指揮者では大野和士、P.モランディ、M.ホーネック、P.シュライヤー、G.ノイホルドらとの共演を果たしている。さらに2006年には有望な歌手に贈られるイェスタ・ヴィンベルグ賞を受賞、翌年、『タウリケのイピゲネイア』（グルック）のピラデス役で独『オペラ・ワールド』誌の新人賞にノミネートされた。2019年ドイツ・グラモフォンから歌曲集『詩人の恋』（シューマン）をリリース。



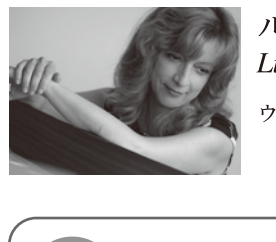
クリスティン・ルイス
Kristin Lewis

米国アーカンソー州リトル・ロック出身。アーカンソー中央大学、テネシー大学ノックスヴィル校で声楽を学んだ。2005年にドイツのハイデンハイム・オペラフェスティバルで『ドン・ジョヴァンニ』のドンナ・エルヴィーラ役でヨーロッパデビュー。以来、ウィーンを拠点に活躍している。2013年に『アイダ』のタイトルロールでウィーン国立歌劇場デビューし絶賛を博した。主にヴェルディの作品を得意とし、これまでにミラノ・スカラ座、フェニーチェ歌劇場、ローマ歌劇場、ヴェローナ野外劇場（以上イタリア）、バイエルン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ドレスデン州立歌劇場（同ドイツ）、パリ・オペラ座、リヨン国立歌劇場（同フランス）といったヨーロッパにおける現代最高峰の歌劇場に出演。また指揮者では特に巨匠ズービン・メータの信頼が厚く、イスラエル・フィルとの『第九交響曲』はDVD化されているほか、同氏とはマーラーの交響曲第2番の共演で栄えあるカーネギーホール・デビューを果たしている。また、2019年1月にはメトロポリタン歌劇場（『アイダ』タイトルロール）でセンセーショナルなデビューを果たした。自身の名を冠した財団を設立するなど、次世代のアーティストの育成も精力的に展開している。



中嶋 彰子
Akiko Nakajima

北海道釧路市出身のソプラノ歌手。15歳で渡豪し、シドニー大学・音楽院を卒業。90年に全豪オペラ・コンクールで優勝し、オペラ・デビュー。92年には伊・ナポリにて欧州デビュー、唄・インスブルック国際バロック音楽祭で欧州放送連合より最優秀賞を受賞。99年にはオペラ誌『オーパングェルト』の最優秀新人賞にノミネートされ、ウィーン・フォルクス・オーパー専属歌手となりトップスターへと成長。欧米の劇場や音楽祭に多く出演し、国際的な日本人ソプラノ歌手として注目を浴びる。また、企画監督や舞台のプロデュースなどにも着手。2017年よりウィーン私立音楽芸術大学教授に就任。群馬オペラアカデミー「農楽塾」総監督、ぐんま観光大使。ウィーン在住。



ルイゼッラ・ジェルマーノ
Luesella Germano

ウィーン国立歌劇場専属ピアニスト

21日(土)
終演後
約75分

アフターステージ・トークイベント

「インターナショナル・アーティストとは？」

世界のオペラ・ディーヴァでありながら、次世代のアーティストを支援するファンデーション (www.kristinlewisfoundation.com/) の設立者でもあるクリスティン・ルイスと農楽塾 (www.nourajuku.com/) の総監督としても活発な活動を続ける中嶋彰子、そしてデンマーク音楽界のリーダー的存在であるペーター・ロダールにウィーン国立劇場で超一流オペラ歌手の伴奏、コレペティを担当しているルイゼッラ・ジェルマーノが、「インターナショナル・アーティストとは？」をテーマに語り合います。

2019年 9月21日[土]・22日[日] 各日 14:00開演 (13:30開場)

高崎芸術劇場 音楽ホール

チケット料金 全席指定 5,000円 (U-25 2,000円)

プレイガイド

- 高崎芸術劇場チケットセンター 027-321-3900 (9/20(金)以降)
- 高崎芸術劇場メンバーズ (WEB・登録無料)
- 群馬音楽センター 027-322-4527
- 高崎市文化会館 027-325-0681 ■ 高崎シティギャラリー 027-328-5050
- チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:154-564 (9/21)、154-559 (9/22)]

*未就学児の入場はご遠慮ください。 *曲目・曲順等は変更になる場合がございます。 *演奏中のお席の移動はご遠慮ください。 *やむを得ず公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換はいたしかねますのでご了承ください。 *U-25料金は公演当日25歳以下の方が対象です。 *各公演ともweb先行で売り切れた場合、電話先行、一般発売でのお席の用意はございません。

access



〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1

JR高崎駅東口から徒歩5分 ※専用駐車場はございません

主催・お問い合わせ

高崎芸術劇場 027-321-7300(代表)